

2022年10月6日

パルシステム生産者・消費者協議会 事務局

生消協 第11回青果フォーラム 報告

- (1) 10月6日に、第11回青果フォーラムを、連合会東新宿本部2階第1会議室およびZoomによるハイブリッド形式にて開催しました。42産地70名、パルシステム関係者66名、東新宿会場31名、オンライン97接続105名の総勢136名が参加しました。
- (2) 冒頭、大津代表の挨拶の後、金谷幹事(サンドファーム旭)より趣旨説明がされ、その後、パルシステム連合会品質保証部の藤方部長より、新たに制定された「商品品質方針報告」についての報告がありました。
- (3) 講演は、農林中金総合研究所 平澤 明彦氏を講師として「食料安全保障と持続可能な農業」をテーマに、世界情勢や日本の基礎的な条件と課題、EUやスイスの事例をもとに、日本の食料安全保障政策の課題が報告されました。質疑応答では平澤氏から「誰が悪いということではないが、これからの未来に向けて国内の生産力の向上や資材の国産化の必要である」とお話がありました。
- (4) 講演後、産地の現状と今後について村悟空・椎名氏、沃土会・倉林氏、水俣不知火ネットワーク河野氏、ジョイファーム小田原・鳥居氏より資源高騰下での対策や取り組みの報告が行われ、パルシステム連合会産直事業本部の島田本部長のまとめが行われました。最後に渡部副代表幹事より全体のまとめが行われ終了しました。



以上